

『<sup>わ</sup>環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

|           |  | 作成年月日  | 平成 20 年 5 月 12 日                          |      |
|-----------|--|--|---|------|
|           |  | 作成部署   | 建設交通部道路管理課                                |      |
| 事業名       | 一般府道中山向日線地方道路交付金事業<br><small>なかやまむこう</small>   | 構想番号   | (建・道) 構 20-2                              |      |
|           |  | 地区名  | 長岡京市滝ノ町地内<br><small>たきのまち</small>         |      |
| 概算事業費     | 約 1.5 億円   | 事業期間   | 平成 20 年度 ~ 平成 22 年度                       |      |
| 事業概要      | 交差点改良 L = 40 m W = 6.0 (9.5) m   |  |   |      |
| 関連する公共事業  | なし。  |  |   |      |
| ガイドライン    |  | 施工地の環境特性と目標  | 環境配慮・環境創造のための措置内容                         | 環境評価 |
| 主要な評価の視点  |  |  |   |      |
| 地球環境・自然環境 | <ul style="list-style-type: none"> <li>地球温暖化 (CO<sub>2</sub>排出量等)</li> <li>地形・地質</li> <li>物質循環 (土砂移動)</li> <li>野生生物</li> <li>・絶滅危惧種</li> <li>生態系</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>             | <p>当該交差点は、交通量が多く狭隘であり、車両のすれ違いが困難な状況で、歩道もないことから歩行者が路肩を通行し、慢性的な交通渋滞が発生し、アイドリング等によるCO<sub>2</sub>の排出量が多い。</p> | <p>交通の円滑化によりCO<sub>2</sub>の排出量を削減を図る。</p> | ○    |
| 生活環境      | <ul style="list-style-type: none"> <li>水環境・水循環</li> <li>大気環境</li> <li>土壌・地盤環境</li> <li>騒音・振動</li> <li>廃棄物・リサイクル</li> <li>化学物質</li> <li>粉塵</li> <li>電磁波・電波・日照</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p> | <p>当該交差点は、交通量が多く狭隘であり、車両のすれ違いが困難な状況で、歩道もないことから歩行者が路肩を通行し、慢性的な交通渋滞が発生し、アイドリング等の排気ガス等により、沿線の生活環境が悪化している。</p> | <p>交通の円滑化により沿道の生活環境の改善を図る。</p>            | ○    |
| 地域個性・文化環境 | <ul style="list-style-type: none"> <li>景観</li> <li>里山の保全</li> <li>地域の文化資産</li> <li>伝統的行祭事</li> <li>地域住民との協働</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>  | <p>該当なし。</p>   | <p>該当なし</p>                               | ×    |
| 地域の環境像    | <p>当該交差点は、交通渋滞等による騒音・排気ガス等により、沿線の生活環境が悪化しているため、交差点改良を実施し、改善を図る必要がある。</p>   |  |   |      |
| 特記事項      | なし。  |  |   |      |

※「環境評価」欄には、評価項目ごとの環境配慮の自己評価を記載する。(改善○、中立△、悪化×)